



大溝・素鷲神社の説明板。
明治の初年に素鷲神社に改称。



主祭神：素戔鳴命（武塔天神、牛頭天王）、
配神：大山咋神（山末の大主神）。



慶長3年(1598)疫病が流行したので玉生
神社の神主が「熊野三社宮」を勧請した。



素鷲神社拝殿内部。



素鷲神社本殿



素鷲神社の幟「奉献素鷲神社」と
「奉献疫鎮神社」の2種類が立つ。



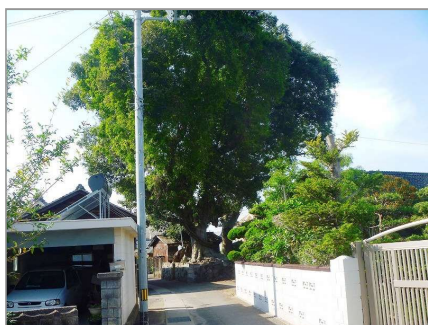
大溝庚申堂。現在も庚申信仰が残っている。



体内に住むといわれる、三尸虫の伝説は有名。



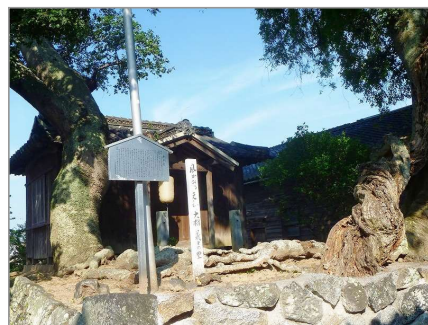
庚申堂に祀られている青面金剛像。



庚申堂のエノキの大木は遠方から見える。



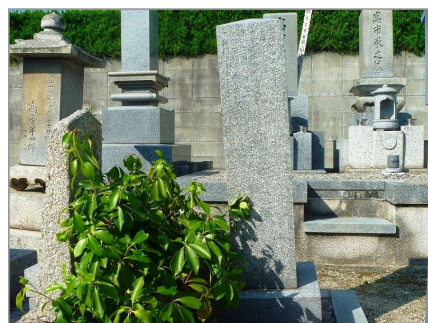
境内のエノキの大木、それに巻きつく藤の古木。
廃城になった松前城から石を運んで築いた石垣。原田開郷・元和四年二月二十八日と記されている。



大溝原田墓地にある赤穂浪士菅谷半之丞の墓。
1702(元禄15)年12月14日の討入り。



討入り後は松山藩主松平定直御預けの身となり、
1703(元禄16)年2月3日に切腹。



墓碑の側面には事跡が書かれている。
宗通寺に法名が載せられ供養されている。

大溝の素鷲神社、庚申堂、義士墓